

助成事業完了報告書

日本財団 会長 笹川 陽平 殿

報告日付:2024年7月12日

事業ID:2024007058

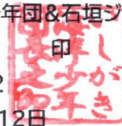
事業名: 2024セーリング&シュノーケリング体験in石垣(海と日本2024)

団体名:(一社)石垣海洋少年団&石垣ジュニアヨットクラブ

代表者名:代表者 前田博

TEL:090-1875-8682

事業完了日:2024年7月12日



■契約時

|       |   |             |
|-------|---|-------------|
| 事業費総額 | : | 1,390,000 円 |
| 自己負担額 | : | 280,000 円   |
| 助成金額  | : | 1,110,000 円 |

箇所は「収支計算書」より自動転記

■事業完了時

|          |   |             |                      |
|----------|---|-------------|----------------------|
| 事業費総額    | : | 1,397,262 円 | 収支計算書の黄のセルの値         |
| 自己負担額    | : | 287,262 円   | 収支計算書の緑のセルの値         |
| 助成金額     | : | 1,110,000 円 | 収支計算書の赤のセルの値。千円未満は切捨 |
| 助成金返還見込額 | : | 0 円         | (収支計算書の青のセルの値)       |

1.事業内容

助成契約書記載の事業内容(予定)と、事業完了時の事業内容(実績)を対照可能とするため、助成契約書と一緒に綴じている「事業計画」の事業内容欄を転記した上、体裁を変えずに結果を記入してください。なお、事業内容を複数設定している場合は、各事業内容ごとの完了時の実績を個別に記入してください。事業内容が4つ以上ある場合は、一つの事業内容ボックスに複数ご記載頂いて構いません。

■事業内容1

(1)助成契約書記載の事業内容(予定)

1.セーリング・シュノーケリング体験  
 (1)時期:2024年6月(計8回)  
 (2)場所:沖縄県石垣市  
 (3)参加者:80名(小学3年生から中学3年生と、その保護者)  
 (4)内容:  
 a.セーリング体験

(2)事業完了時の事業内容(実績)

1.セーリング・シュノーケリング体験  
 (1)時期:2024年6月(計8回)  
 (2)場所:沖縄県石垣市  
 (3)参加者:80名(小学3年生から中学3年生43名、その保護者37名)  
 (4)内容:  
 a.セーリング体験



(3)成功したこととその要因

海を体験しようというアクションのもと、ヨットに乗って風や波を感じてセーリング体験を行い、自然の力を感じる体験をしていただきました。

(4)失敗したこととその要因

失敗したことはありません。

(5)事業内容詳細

陸上でヨットの原理についてレクチャーをした後、海で実際にヨットに乗る体験をしてもらいました。クラブ員と一緒に2名でヨットに乗艇し、実際に舵や帆を操作して、自らヨットを操船する体験をしていただきました。安全管理のために、監視艇(救助艇)を出すことで、万が一の事故に備えた万全の体制で、安全、安心して体験をできる環境を構築しました。

■事業内容2

(1)契約時の事業内容

1.セーリング・シュノーケリング体験  
 (1)時期:2024年6月(計8回)  
 (2)場所:沖縄県石垣市  
 (3)参加者:80名(小学3年生から中学3年生)

(2)事業内容の実施(完了)状況

1.セーリング・シュノーケリング体験  
 (1)時期:2024年6月(計8回)  
 (2)場所:沖縄県石垣市  
 (3)参加者:80名(小学3年生から中学3年生43名、その保護者37名)

と、その保護者)  
(4)内容:  
b.シュノーケリング体験  
e.サンゴ礁の観察学習



(4)内容:  
b.シュノーケリング体験  
e.サンゴ礁の観察学習

(3)成功したこととその要因

ライフジャケット、マスクを使って安全に海を楽しむ方法を体験し、サンゴ礁の現状について学ぶために、サンゴや熱帯魚の様子を観察して、海の自然の現状を学習していただきました。

(4)失敗したこととその要因

失敗したことはありません。

(5)事業内容詳細

海で、ライフジャケットとマスクを着用して、シュノーケリング体験をしながら、サンゴ礁の観察学習を行いました。安全確保のために、マスクやシュノーケルの使い方を海に入る前にレクチャーを行い、その後、海に入って実際に体験をしていただきました。またインストラクターがしっかりと安全管理を行っていたため、安全かつ安心して、保護者の皆様もお子様と一緒にシュノーケリング体験をしていただきました。

■事業内容3

(1)契約時の事業内容

1.セーリング・シュノーケリング体験  
(1)時期:2024年6月(計8回)  
(2)場所:沖縄県石垣市  
(3)参加者:80名(小学3年生から中学3年生と、その保護者)  
(4)内容:  
c.安全なライフジャケットの着用方法学習



(2)事業内容の実施(完了)状況

1.セーリング・シュノーケリング体験  
(1)時期:2024年6月(計8回)  
(2)場所:沖縄県石垣市  
(3)参加者:80名(小学3年生から中学3年生43名、その保護者37名)  
(4)内容:  
c.安全なライフジャケットの着用方法学習

(3)成功したこととその要因

安全なライフジャケットの着用方法を学習するために、海に行く前にライフジャケットの正しい着用方法をレクチャーして、自らの見を守る方法を学習しました。着用方法については、インストラクターから正しい着用方法をレクチャーしましたので、セーリング体験やシュノーケリング体験時に、自らの身を守る方法を体験していただきました。

(4)失敗したこととその要因

失敗したことはありません。

(5)事業内容詳細

海に行く前にライフジャケットの着用方法について、インストラクターからレクチャーを行い、しっかり着用できているかについても1人ずつ確認を行いました。その後、セーリング体験やシュノーケリング体験においても常にライフジャケットを着用していただき、どれだけライフジャケットを着ることが大切かを身をもって体験していただき、有効性も参加者全員で確認をしていただきました。

■事業内容4

(1)契約時の事業内容

1.セーリング・シュノーケリング体験  
(1)時期:2024年6月(計8回)  
(2)場所:沖縄県石垣市  
(3)参加者:80名(小学3年生から中学3年生と、その保護者)  
(4)内容:  
d.ロープの結び方の学習



(2)事業内容の実施(完了)状況

1.セーリング・シュノーケリング体験  
(1)時期:2024年6月(計8回)  
(2)場所:沖縄県石垣市  
(3)参加者:80名(小学3年生から中学3年生43名、その保護者37名)  
(4)内容:  
d.ロープの結び方の学習

(3)成功したこととその要因

ロープの結び方の学習として、海で使われているロープの結び方を学び、海洋スポーツを安全に楽しむ方法を学習しました。

#### (4)失敗したこととその要因

失敗したことはありません。

#### (5)事業内容詳細

陸上において、ロープの結び方や使い方について、実際にロープを手に取りながら、結び方を学習しました。見るだけではわからないので、1人ずつ手に取って、自分で結び方お学習することで、海洋スポーツにおいて必要となるロープの結び方を学んでもらいました。その後、セーリング体験やシュノーケリング体験時において実際の場面で使われている状況を体験していただきました。

### 2.契約時事業目標の達成状況:

#### (1)助成契約書記載の目標

海に親しむことの少ない子供たちが家族と一緒に楽しく、海を実体験できる。  
海洋スポーツイベントを開催する。

##### 【事業終了後の到達目標】

##### ①定性目標

本目標の達成についてはアンケート用紙による評価を実施し、報告する

A)子供たちを中心とした参加者が、直接「海」との接点を持つことで、自らの健康への影響や精神的な喜びなど、「海」がもたらす素晴らしいさを感じる。

B)参加者が、海に対する安全対策や、自然環境保全の大切さを実感し、そのような活動に自ら参加しようとする認識を高める。

C)「海」に関わるマリンスポーツの楽しさを実感し、継続して海にかかわるため、マリンスポーツを更に体験したい、応援したいという気持ちを醸成する。

##### ②定量目標

安全を担保した海洋スポーツイベントを複数回開催し、子供たちの参加する機会を創出する。

A)イベント実施回数 8回

B)イベント参加人数 80名(内中学生以下で40名)

C)メディア取り上げ数 2件

D)イベントでの事故 0件

#### (2)目標の達成状況[700文字以内]

| 入力文字数  | 626 | 文字数チェック | OK |
|--|-----|---------|----|
| ①定性目標  |     |         |    |
| A)の達成状況:「体を動かしてすっきりした」57.1%、「海をみて元気になった、気分がよくなった」54.1%などの回答があったため目標を達成できた。   |     |         |    |
| B)の達成状況:「自然環境を守ったり、大切にしたいと感じた」62.9%、「ビーチクリーンなどの自然環境を守る活動に参加してみようと思った」34.3%などの回答があり、自然環境保全の大切さを実感し、自ら参加しようとする認識を高めて目標を達成できた。「海では自分の安全を守るために、ライフジャケットとは必要だと感じた」62.9%、「ライフジャケットの正しい着用方法を知ることができた」68.6%などとなり、海に対する安全対策について認識できているため目標を達成できた。 |     |         |    |
| C)の達成状況:「また機会があれば、シュノーケリング体験してみたい」51.4%、「また機会があれば、ヨットに乗ってみたい」62.9%と、マリンスポーツを更に体験したいという気持ちを醸成でき、目標を達成できた。   |     |         |    |
| ②定量目標  |     |         |    |
| 安全を担保した海洋スポーツイベントを複数回開催し、子供たちの参加する機会を創出できた。  |     |         |    |
| A)イベント実施回数 8回<br>目標の回数を実施できました。  |     |         |    |
| B)イベント参加人数 80名(内中学生以下で43名)<br>参加目標人数通りにご参加いただきました。   |     |         |    |
| C)メディア取り上げ数 2件<br>目標の件数、メディアに取り上げていただきました。   |     |         |    |
| D)イベントでの事故 0件<br>目標どおり、無事故を達成しました。   |     |         |    |

### 3.事業実施によって得られた成果

参加者のアンケートによると、シュノーケリング体験よりもセーリング体験(ヨット)の方が、次回も参加したいとの割合が高い傾向にありました。シュノーケリング体験は個人で体験しようと思えばできるが、ヨットは体験したくてもヨット本体が無いと体験ができず、使い方を教わらないと体験できないため、機会があればまた参加したいとの意向になっていると推測されました。そのため、今後も事業を実施する場合には、セーリング体験(ヨット)とマリンスポーツを組み合わせることで、多くの参加が見込まれると考えています。

#### 4.活動を通じて明らかになった新たな課題と対応案

セーリングとシュノーケリング体験への参加者数などは目標を達成できている。しかし、サンゴ礁の観察学習も行っているものの、アンケートにおいてサンゴの事について言及する人がいなかったのは、海洋スポーツのセーリングとシュノーケリング体験が楽しすぎて、サンゴの事は、印象に残りにくかったと推測されます。そのため、サンゴ礁についての説明方法を改善することで、海の自然やサンゴについて印象に残るような取り組みを今後していくことで、中長期の目標である海洋環境保全の行動に繋げていきたいと考えます。

#### 5.事業成果物

##### (1)助成契約書記載の成果物名称

1. 事業完了報告書
2. 開催案内チラシ
3. 開催案内Webサイト
4. 実施後写真
5. アンケート集計
6. メディア露出結果



##### (2)事業完了時の成果物名称

1. 事業完了報告書
2. チラシ 2024セーリング&シュノーケリング体験in石垣
3. Webサイト 2024セーリング&シュノーケリング体験in石垣
4. 実施写真 2024セーリング&シュノーケリング体験in石垣
5. アンケート結果 2024セーリング&シュノーケリング体験in石垣
6. メディア露出結果 2024セーリング&シュノーケリング体験in石垣

##### (3)未作成となった要因

特にありません。

##### (4)成果物を登録したウェブサイトのURL

[https://nippon.zaidan.info/nf\\_lib/nf\\_libServlet/nf\\_lib1050?np=1019&iigvo\\_id=0000100389](https://nippon.zaidan.info/nf_lib/nf_libServlet/nf_lib1050?np=1019&iigvo_id=0000100389)